



南が丘通信

教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人
思いやりの心を持ち、互いに協力する人
心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 宮田 健史

〒177-0035

練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL [https://www.nerima-](https://www.nerima-tky.ed.jp/minamigaoka-j/)

[tky.ed.jp/minamigaoka-j/](https://www.nerima-tky.ed.jp/minamigaoka-j/)

令和5年度 第8号 令和6年1月18日発行



自分事として捉え、考え、動く。

校長 宮田 健史

地域では年末年始に火災がありました。日本では三が日に、能登半島地震、羽田空港の航空機事故、北九州市の火災と、大きな災害が続きました。災害に見舞われた方々、お知り合いの方々に、心よりお見舞い申し上げます。そして一日も早く元の生活に戻ることを、願っています。

さて、3学期です。3学期は、今年度のもまとめと来年度に向けての準備を行う学期です。短い学期ですが、とても重要な学期です。特に3年生は4月からの進路を自ら切り開き、決定する学期です。全ての生徒が姿勢（「あじみこし」の「し」）を整え、この学期の学びを確かにして欲しいです。

私はこの時期になると、ある年の卒業式に保護者から伺った、受験のエピソードを思い出します。3年生の多くが臨む受験は、今月末に行われる都立高校の推薦受検から始まります。都立高校の推薦率は定員の20%程度で、この高校にどうしても入りたいという強い意志をもつ生徒が集まるので、とても狭き門となります。

「お母さん、私、絶対に〇〇高校に入る！」。都立高校の推薦受検を終え、家に戻ってきた娘さんが、お母さんに向けた第一声です。「その高校に行きたいから、今日受検したのでしょうか？」。あまりにも当たり前のことを、何で今さらと、お母さんが尋ねました。「今日の試験は、ダメだと思う。でも、一般受検で絶対に入るから！今から、勉強する！」と答えて、直ぐに自室に行き勉強を始めたそうです。

娘さんが言うには、推薦受検の集団討論で他校の受検生たちから、自分が考えていなかった意見をたくさん聞いた。どの意見や考えも、これまで自分が考えたり触れたりしたことのない新しいものであった。中学校にはいなかった多様な意見をもち考えられる生徒が集まる高校に、どうしても入りたい。そんな仲間と一緒に学びたい、友達になりたい。そして、自分もたくさんの考えや意見をもとに、自分の考えをしっかりとるようになりたい、と話したそうです。その後、彼女は一般受検で見事に合格し、その高校で人が変わったように（保護者談）、一生懸命学習に部活動に励んでいるそうです。

彼女は受検して、初めて自分に足りないものに気付いたのでしょう。「みんな高校に行くから」と考えていた受験や高校での学びが、自分が「これをやりたい」と自分の事になり、目的・目標が定まり、行動し、志望校に合格しただけでなく、その学校での学びに打ち込めたのだと、私は考えています。

昨年12月に、生徒に教員ごとの授業アンケートをお願いしました。「授業のねらいがはっきりしている」「グループで話し合うなど、学び合う時間がある」など、授業について10項目は4段階評価で、「授業の感想」「授業で工夫してほしいこと」「授業がより良くなるために、あなたができること」の3項目は記述で答えてもらいました。

最後の問いは、生徒に授業を自分事として捉え考え行動して欲しくて、設けた問いです。授業は生徒の学びのために行われます。豊かで確かな学びにするために、授業を工夫するのは教員です。そして、生徒が学びを自分のものとしてより確かにするには、自ら学びに向かうことも大切です。学びに「棚ぼた」はありません、「まかぬ種は生えぬ」です。自分事として取り組む姿勢が大切です。

生徒たちはこの問いに、「授業の内容などに分からないことがあったら、そのままにしない」「自分たちができる声掛けを積極的にしていく」「授業を聞くだけでなく、自分で考えて納得する」「関係のない発言はいらない」「ちゃんと聞いて発言する」など、予想を超える声があがりました。授業を自分事として捉え行動しようとする生徒が多くいることを知れて、私はとても嬉しかったです。

今年も、生徒の学びを大切に、安全で安心して学べる環境に感謝して、教職員・保護者・地域の皆様と一緒に、教育活動を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

【3学期始業式】

令和6年が始まりましたが、学校のスケジュールでは「令和5年度3学期」のスタートです。本校では1月9日（火）に始業式を行いました。校長からは、元日の能登半島地震や、未だ続くウクライナ、ガザ地区の紛争などの話題から「普段通りに学習や生活できることへの感謝」とともに、今月号巻頭言にもある「物事に取り組むときには自分事として捉えて考え、行動する重要性」という講話があり、全校生徒で校歌を斉唱して再スタートの気持ちを高めました。残り3か月で3年生は卒業、1・2年生は進級となります。今学期は令和6年度の0学期として、新しい年度へ向かって自分を更に成長させる3か月にしてほしいと思います。



【休業明けテストの表彰】

夏休み・冬休み・春休みと3回の長期休業明けに、本校では「家庭学習習慣定着の取り組み」として、宿題や決められた範囲から出題される「明けテスト」を実施しています。自分が努力すれば良い結果も得られるため、多くの生徒が一生懸命に学習へ取り組んでいます。

1月15日（月）の全校朝礼で、冬休みの明けテストにおいて「テスト結果」「休業中の学習時間」いずれも設定目標値の8割を超えた生徒に「認定証」が授与されました。

今回の認定者は、1年11名、2年16名、3年21名でした。ただ受け身で授業を受けるだけでなく、自らが学ぶという主体性を生徒には伸ばしてほしいと願っています。



【各学年キャリア教育の取り組み】

キャリア教育は、中学校3年間の様々な体験をとおして、自分の生き方を中心に、自分に適する進路や仕事を広く深く考えるものです。3学期の各学年の取り組みを紹介します。

<1年生>

様々な職業を調べ発表する準備を進めています。3月には練馬区公認の職人(魔法使い)の方々に講話をいただきます。

<2年生>

1月22日（月）より2泊3日でスキー教室です。実習班や宿泊班も決定し、各係が準備にいそしんでいます。集団行動をとおして社会性、自己調整力を学ぶ機会でもあります。

<3年生>

いよいよ入試直前。都立高校は全面的にWEB出願へ移行しました。自らの目標へ向けて、出願手続きに着実に取り組みます。

【Sigfyの導入】

練馬区立小中学校では、家庭と学校をつなぐツールとして、保護者向け情報伝達サービス「Sigfy」を導入しました。学校からの諸連絡やお便りの配信、欠席や遅刻の連絡手段などとして活用する予定です。これまでの学校連絡メールについては、主に練馬区教育委員会からの連絡手段として残されます。

本校では、2月に「Sigfy」のご案内と登録について周知を行い、3月から活用を始め、令和6年度からは本格運用の予定です。詳細については改めて学校よりお知らせいたします。